

第7期

Active Work Place研究会

ひとりひとりがイノベータータイプで
いきいき働ける組織へ

専門家による助言と参加企業同士の経験交流を通じた
行動計画の策定と実践

ストレスチェック
結果の活用

具体的施策
の展開

生産性
人財獲得力
向上

講義・指導を担当する主な講師 (予定)



東京大学大学院医学系研究科
精神保健学分野

教授 川上 憲人氏
(専門：職場のメンタルヘルス)



学習院大学
経済学部経営学科

教授 守島 基博氏
(専門：組織行動、人的資源管理)



慶應義塾大学
総合政策学部 (※)

教授 島津 明人氏
(専門：産業精神保健、健康心理学)



甲南大学
経営学部経営学科

教授 北居 明氏
(専門：マイクロ組織論、組織行動)

※19年4月より就任予定



公益財団法人 日本生産性本部
JAPAN PRODUCTIVITY CENTER



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

健康いきいき職場づくりフォーラム

『健康いきいき職場づくりフォーラム』について

職場のメンタルヘルスの一次予防（未然防止、健康増進）を発端とした人と組織の新しい枠組みとして、「働く人の心身の健康」を前提に、「働く人のいきいき」「職場のいきいき（一体感）」によって、個人の幸福と組織の生産性向上を目指す活動です。この活動は、個人を対象とした職場のメンタルヘルスの領域のみならず、組織全体を対象とした経営領域に関わるものです。

当フォーラムはこの概念と具体的方策を国内に広く普及し、これを通じて働く人の心身の健康増進と企業の生産性向上を支援することを目的に、2012年に公益財団法人日本生産性本部と東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野が協同して設立いたしました。

現在、全国から約60社の法人と約90名の個人に会員としてご参画いただきながら活動を進めています。

Active Work Place研究会が目指すもの

専門家・他社と協力して各組織にあった**行動計画を策定・実践し、働く人の心身の健康と組織の改善**を支援します

少子高齢化に伴う労働力人口の減少を背景とし、企業における人手不足が深刻化しています。また長引く経済成長の低迷を脱するため、企業にはイノベーションと事業の新陳代謝が求められています。

これらの課題に対し、働き方改革などを通じた生産性向上や、付加価値を生み出すための取り組みが進められていますが、その基盤として「働く人が健康でいきいきしている」ことが重要です。

本研究会では、ワーク・エンゲイジメント（仕事に誇りを感じ、熱心に取り組み、活力を得ていきいきしている状態）向上と組織活性化に向けた計画策定および実践を、講師の助言と他社との経験交流、またストレスチェック結果の活用を通じてご支援します。

密度の高い学びと実践により、組織における一体感醸成・働く人の心身の健康改善、また生産性向上とイノベーション創出の基盤づくりを目指します。

これらの課題をお抱えの企業にお薦めです

人財獲得力や組織力強化を経営課題としている企業

健康経営の推進（ホワイト500・健康経営銘柄の認定等）を目指している企業

ストレスチェックの分析結果を効果的に活用したい企業



開催期間・対象層・予定会場

2019年9月～2020年秋頃（全8回）

上記企業の経営企画・人事・健康管理部門の幹部および担当者
労働組合幹部等

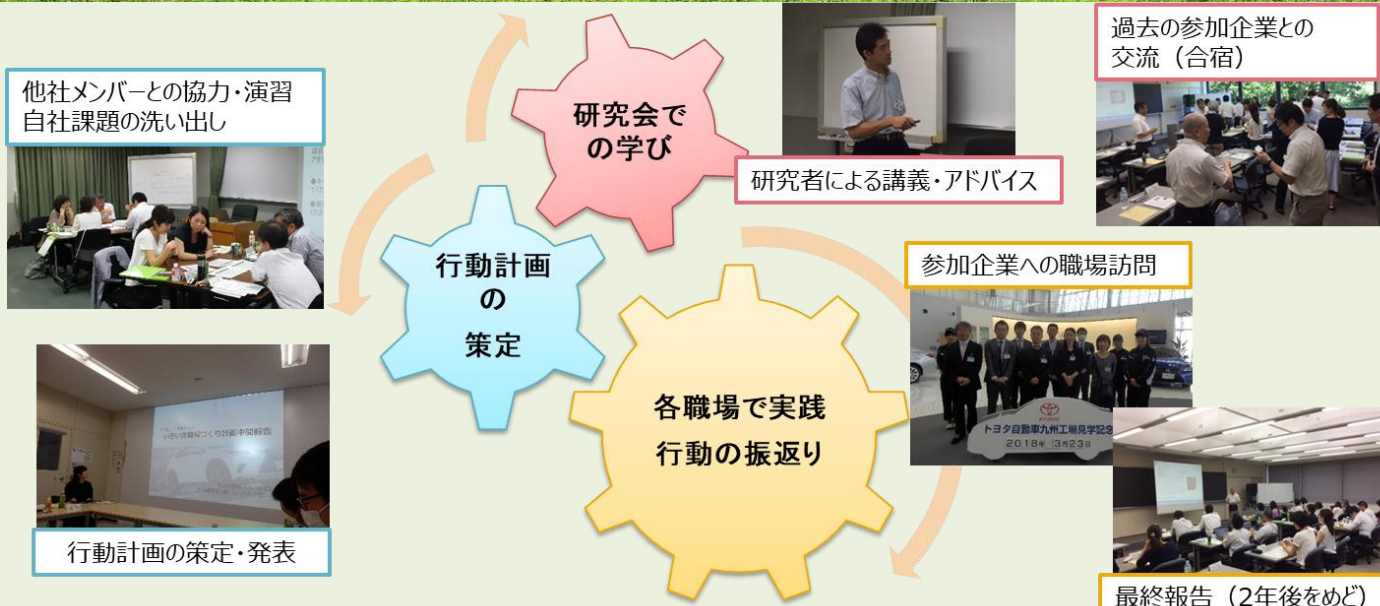
※各回2名1組でご参加ください

生産性本部ビルセミナー室（東京・永田町）

経営アカデミー教室（東京・丸の内）

宿泊型研修施設（首都圏近郊）

研究会での取り組みイメージ



参加企業一覧 (敬称略)

●第1期 (2013年度)

朝日酒造株式会社
西日本旅客鉄道株式会社
株式会社フジクラ
藤倉化成株式会社
三菱鉛筆株式会社

●第2期 (2014年度)

株式会社NTTデータ
積水化学工業株式会社
帝人株式会社
トヨタファイナンス株式会社

●第3期 (2015年度)

旭化成労働組合
医療法人社団明芳会
イムス板橋リハビリテーション病院
第一工業製薬株式会社
DIC株式会社 埼玉工場

●第4期 (2016年度)

株式会社IHI
NTTデータシステム技術株式会社
オムロンヘルスケア株式会社
布目電機株式会社
株式会社富士通マーケティング

●第5期 (2017年度)

株式会社神戸製鋼所
セイコーエプソン株式会社
積水化学工業株式会社
トヨタ自動車九州株式会社

●第6期 (2018年度)

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社
大日本印刷株式会社
株式会社ナカニシ
西日本旅客鉄道株式会社
株式会社ニチレイ

同期・先輩企業との経験交流・学びあいが本研究会の特徴です

実際の研究会の様子



ワークショップによる目指す組織像の検討



専門家との討議・個別アドバイス

参加企業の声



『組織にあった行動計画を立案し、実践に向けた取り組みが得られた』

健康いきいき職場づくりの基本や健康経営の視点から見た健康いきいき職場づくりの最新の理論・方法論などを各分野の第一人者である講師から身近に学ぶ事が出来ます。また改めて自社の資源を振り返り、講師、他社参加メンバーからの相互アドバイスにより、組織にあった行動計画の立案や具体的な施策など実践に向けた取り組みが得られます。
(第2期参加)

『専門家や他企業との交流から自身の成長にもつながった』

本研究会に参加することで、専門的知見に基づくアドバイスや他企業様との情報交換等、自組織の活動の推進に向けた後押しを頂きました。自組織では生まれづらい発想や視点も多く、様々な気づきを得ることができ、参加者自身の成長にもつながったと感じています。今後も多くの方にご参加頂き、互いに切磋琢磨していければと思います。
(第3期参加)



『自社の課題整理や取組みの棚卸を体系的に行うことができた』

研究会に参加することで業務遂行しながらではなかなか進まない課題整理や取組みの棚卸などを体系的に行うことができた、同じ志や課題を持つ仲間と共に新しい知識を学びながら過ごす期間は刺激的で学び多いものになりました。ご参加をおすすめします。
(第4期参加)



各回予定プログラム

●全8回（うち合宿1回）のプログラム（演題・講師は変更の可能性があります）

※会場は確定次第改めてご連絡いたします。

第1回：2019年9月5日（木） 13:00～17:30

テーマ：ひとりひとりがイノベティブで、いきいき働ける組織とは

目的：本研究会の考え方、理論、目的の理解、および現状の共有

時間	プログラム	講師・話者
午後	【講義 & 議論】健康でいきいき働ける職場の条件 （経営戦略としての組織づくり）	東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野 教授 川上憲人氏
午後	【講義 & 議論】ワーク・エンゲイジメントと組織活性化 （人と組織の活性化を成功させるためのポイント） 【ワーク】事前課題「参加各社の現状と課題」発表・討議	慶應義塾大学総合政策学部 教授 島津明人氏 川上憲人氏、島津明人氏

第2回（合宿）：2019年10月31日（木）～11月1日（金）

テーマ：第6・7期参加企業による合同合宿

目的：先輩企業との交流・体験談から行動計画策定に向けたヒントを得る

時間	主なプログラム	講師・話者
初日	【議論 & 交流】 第6期（2018年度）企業の実践状況発表と討議および 経験交流・懇親会	川上憲人氏、島津明人氏
2日目	【ワーク】 事前課題「いきいき職場づくりのビジョンと施策案」発表・討議 【講義 & ワーク②】 プログラム調整中	島津明人氏 講師調整中

第3回：2019年11月21日（木） 9:30～17:00

テーマ：組織の現状の見える化と改善に向けた具体的施策

目的：ワーク・エンゲイジメントを高め、組織を活性化させるための効果的施策の検討

時間	主なプログラム	講師・話者
午後	【ワーク①】事前課題「自組織の資源とGood Practice」の発表・討議	島津明人氏
午後	【講義 & ワーク】いきいき職場づくりワークショップ （組織活性化施策手法の紹介、デモンストレーション） 【ワーク②】事前課題「組織アセスメント」発表・討議	健康いきいき職場づくりフォーラム 事務局



第4回:2019年12月19日(木) 10:00~17:00

テーマ:ベストプラクティスおよび組織開発手法を学ぶ

目的:先進的な取り組みを展開している企業の事例を学び、施策をより具体的に検討

時間	主なプログラム	講師・話者
午前	【事例紹介】先進企業の取り組み紹介 ※18年度は東京急行電鉄様 【ワーク】「組織アセスメント」の発表・討議	健康経営・働き方改革等ご担当者 島津明人氏
午後	【講義 & ワーク②】組織開発から考える健康いきいき職場づくり (Appreciate Inquiryに関するワークショップ体験)	甲南大学経営学部経済学科 教授 北居明氏

第5回:2020年2月 9:30~17:00

テーマ:行動計画策定に向けた効果的施策とマネジメントサイクルの構築

目的:考案した具体的施策の有効性と組織としての継続的取り組みを検討

時間	主なプログラム	講師・話者
午前	【ワーク①】 組織の特性とマッチする施策の発表・討議	島津明人氏
午後	【講義 & 討議】 ワーク・エンゲイジメント向上の施策と効果 【ワーク②】持続的取り組みを実現する、個人と組織のPDCA を考える	同上

第6回:2020年3月 13:00~17:00

テーマ:行動計画発表会

目的:各職場で実践する行動計画を共有し、ブラッシュアップする

時間	主なプログラム	講師・話者
午後	【最終発表】 行動計画の発表と討議	川上憲人氏、島津明人氏

第7回(半日):2020年5月以降

テーマ:フォローアップ

目的:計画進捗のフォローアップや、推進における
悩み相談などを行う。

※毎回、参加メンバーの職場に訪問して実施しています。

第8回(1日):2020年夏以降

テーマ:第8期メンバーとの交流

目的:第8期と合同で実施し、1年間の実践の進捗
を紹介したり、意見交換・相互アドバイスを
実施する。

プログラムの特徴

行動計画の立案・実行

研究会の会期を通じて組織としての行動計画を策定いただきます

8つのステップと
6つの基準

健康いきいき職場づくりを推進する際の標準的な8つのステップと6つの基準を習得頂けるカリキュラムで、何から取り掛かるべきか優先順位をつけやすくなります

実践課題

毎回出される課題により、自組織の資源を振り返り、自組織に合った行動計画が策定できます

2名でのご参加

自組織に戻った時に学びを共有した方がいることで、企画検討や社内調整、実行が楽に早くできるようになります。

参加者同士の学び

同じ目的を持った、全く別の組織の方々との学びを共にすることで、他社事例を多く学び、また自社の良さを客観視することができます。

帝人株式会社（第2期参加）



企業概要

設立：1918年
業種：繊維製品
所在：東京都千代田区
従業員数：約19,000人（連結）
研究会参加者のお立場：
健康管理室 産業保健スタッフ

安心、安全で風通しが良く、働きやすい職場から元気な会社を作る

1. 研究会に参加した背景（抱えていた課題）

2003年から自社内で職場診断を行い、2010年からは健康リスク値が帝人の要職場改善基準130以上の職場を対象に『従業員参加型職場環境改善活動』を全社展開してきた。開始当初は対象職場の7～8割に改善効果（健康リスク値低下）が見られたが「職場改善＝悪い職場だからやらされる」というネガ

ティブイメージが払拭できず、改善活動に臨む従業員モチベーションも上がらぬまま年々改善効果は下がり、2014年には6割強に低下。このまま問題解決だけの目標や行動計画を立てて活動を継続するには限界を感じ、ポジティブな活動への転換方法を模索、検討していた折、この研究会の存在を知り参加した。

2. 研究会を通して学んだこと

弊社のような従業員参加型改善活動を行っているところは、従業員に分かりやすい改善目標や行動計画のもとで、安全な状態で、安心して楽しく参加できる雰囲気と、改善効果が実感できる（成功体験を得る）ことが重要だということを、講義や他社の活動事例検討を行う中で学ぶことができた。それには欠点や課題を改善する活動に加え、

ポジティブ改善活動として職場の長所を全員で認め合い、さらに伸ばしていく目標を入れること、上司や同僚から褒められたり認められる機会を多く設けることなど、一見稚拙に思えることが、実は改善の本質、成功への近道であり重要な要素であると痛感した。今では弊社改善活動のサブコンセプトは「褒めてのばす」です。

3. 健康いきいき職場づくりの進捗

2014年にAWP研究会に参加し、ポジティブ改善活動へと方向転換する際、職場診断項目にポジティブ指標（ワークエンゲイジメント／職場一体感など）や、職場の資源、個人の資源の活用状況が分かる指標も追加した。さらに健康リスク値とポジティブ指標の乖離の検証も行い、どこから（何から）改善

に取り組むのが良いかをわかりやすく解説する仕組みも取り入れたことで、翌年の改善効果は8割に急上昇した。もう一方で職場環境改善活動の牽引役「職場改善ファシリテータ」や「職場改善コーディネータ」の教育や支援にも力を入れ、各事業場に産業保健スタッフ等がいなくても、職場診断が終わったら自動的に改善活動が全社展開できる体制を、今着々と構築中です。

4. 未来の参加企業へのメッセージ

今後ストレスチェック制度において、職場環境改善活動が努力義務から義務へと強化されて行く方向ですが、改善活動を難しく捉えず、従業員に分かりやすい短期間で達成できそうな改善目標や行動計画を立て、安全な状態で、楽しく参加できる雰囲気と、改善効果が全員に実感できる（成功体験を得る）ようにすることが重要ではないかと思えます。



第一工業製薬株式会社（第3期参加）



企業概要

設立：1918年
業種：製造業
所在：京都府京都市南区
従業員数：約1,000人
研究会参加者のお立場：
人事部、産業保健スタッフ、
労働組合

健康いきいき目指して、社内イベントで活性化、元気な職場に！！

1. 研究会に参加した背景（抱えていた課題）

当時は三つの課題を抱え、参加しました。

- ①1次予防の効果的手法の模索…メンタルヘルス不調者、復職者への対応や体制づくりはある程度構築できており、従来の2次予防・3次予防から1次予防へのシフトの時期にきていた。また1次予防はその活動に見合う効果があるのか模索したい。
- ②職種の違いに合わせた職場環境改善活動の

模索…事務部門・製造部門は従前の活動がマッチしているが、営業部門・研究部門は別のニーズがあり、職種に応じた職場改善活動について模索したい。

- ③ポジティブ心理学の企業内研修への応用…従業員が本当に聞いてみたい、聞いて満足するメンタル教育を探したい。ワークライフのライフを強化する研修が効果的か検証したい。

2. 研究会を通して学んだこと

健康いきいきの理論、ポジティブアクションによる職場活性化の手法など、原因究明型の従来のメンタルヘルス対策ではなく、新たな発想の取り組みを学ぶことができました。また、他社の取り組みを参考に、自社への取り組みへの展開を検討することが可能であり、交流を通じて新たな発想を得る機会でした。

一方で、人事・組合・産業保健スタッフにて参加を続けることにより、三位一体の活動が継続し、メンタルヘルスその他情報交換や取り組みが加速しました。

1年間の活動を通じて今後のアクション（健康経営格付け等）に向けた、良いアピールの機会となりました。

3. 健康いきいき職場づくりの進捗

社内イベントとしてフェスタが継続し、全社的に家族を含めた交流の場となっています。また、社外からの評価として経済産業省から健康優良法人ホワイト500に認定、日本政策投資銀行から健康経営格付について2016年にBランクに認定されました。

健康経営格付については2017年に最高ランクとなるAランクに認定されています。現在は、健康経営への取り組みが加速し、産業保健スタッフを中心に社内外へのPRを含め施策を展開中です。

4. 未来の参加企業へのメッセージ

他社との交流により、自社の優れた部分に気づくことができます。また、他社で実施されている取り組みでも自社の発想にはない優れた取り組みがあり、相乗効果が期待できます。また、取り組みの中で互いの悩みを共有し、意見交換を通じて新たな発想が生まれる可能性を秘めています。研究会は一期一会です。皆さん大いに交流し、日々の取り組みに生かしてください。





参加費

いずれも税込
2名分の金額です

健康いきいき職場づくりフォーラム協賛会員	290,000円
健康いきいき職場づくりフォーラム組織会員	390,000円
日本生産性本部賛助会員	〃
一般(上記以外)	450,000円

あわせてお得に

フォーラム会員 年会費
協賛会員 194,400円
組織会員 86,400円

★会員特典★

健康経営や組織活性化
に関する異業種交流会

定例セミナー無料参加

最新の研究事例・過去の
セミナー資料の閲覧など

お申込み欄

※該当個所にチェックしてください。追って事務局よりご案内をお送りいたします

- Active Work Place研究会に申し込みます
- Active Work Place研究会と併せて、フォーラム会員に申し込みます
(会員種別：協賛会員 組織会員 個人会員)

組織情報

※ご請求書等お届け先をご記入ください

組織名		
担当者様お名前	所属	役職
住所 〒 -		
電話番号 - -	FAX番号 -	-
従業員数	人	業種

ご参加者情報 (お一人目)

名前
所属
役職
電話番号 (上記と異なる場合) - -
FAX番号 (上記と異なる場合) - -
E-mail

ご参加者情報 (お二人目)

名前
所属
役職
電話番号 (上記と異なる場合) - -
FAX番号 (上記と異なる場合) - -
E-mail

※ご参加者様のご都合が悪い回は、代理の方のご出席をお願いいたします

お申込前にご確認ください

- ・本研究会は組織単位でのみご参加いただけます。個人の方のご参加はいただけませんので、予めご了承ください。
- ・合宿の宿泊費・懇親会飲食費等は実費を別途ご負担ください。
- ・本研究会は、健康いきいき職場づくりフォーラムの活動の一環として実施いたします。
- ・主催者により会合の様子を映像・音声・写真等に記録させていただく場合がございます。

WEBでのお申込はこちら

健康いきいき職場づくり

ホームページ URL

<http://www.ikiiki-wp.jp>



お問い合わせ

「健康いきいき職場づくりフォーラム」事務局
公益財団法人日本生産性本部
ICT・ヘルスケア推進部内
住所 〒102-8643 東京都千代田区平河町 2-13-12
TEL 03-3511-4024 FAX 03-3511-4064
MAIL ikiiki@jpc-net.jp

個人情報保護方針

- 下記の「個人情報の取り扱い」について同意した上で申し込みます。
1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、日本生産性本部ホームページ(<http://www.jpc-net.jp/>)をご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込みいただきますようお願いいたします。
 2. 個人情報は、『健康いきいき職場づくりフォーラム』の実施に関する資料等の作成、ならびに当本部が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。
 3. 『健康いきいき職場づくりフォーラム』の実施に関して必要な範囲で資料を作成し、当日講師等の関係者に限り配布させていただきます。但し前述の場合および法令に基づく場合を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。
 4. 案内状や参加証、テキストの送付などを外部に委託することがありますが、委託先にはご本人、ご連絡担当者へのサービス提供に必要な個人情報だけを開示し、サービス提供以外に使用させることはありません。
 5. ご本人からの求めにより、開示対象個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加又は削除、利用の停止、消去及び第三者への提供の停止に応じます。この件については、健康いきいき職場づくりフォーラム事務局 (TEL03-3511-4024) または日本生産性本部総務部個人情報保護担当窓口 (TEL03-3511-4003) までお問合せください。【責任者：個人情報保護管理者(総務部長)】
 6. お申込書に個人情報を記入するかどうかはご本人の自由です。ただし、必要な個人情報が不足していた場合は、当本部からのサービスの全部、または一部が受けられないことがあることをご了承願います。
 7. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。